

先 報

66・8・25
30号
1部 20円
25号分 400円(千共)
先 報 社
東京本社 東京都千代田区
神田駿河台3の2
東京ビル内(751) 7213
大阪支社 大阪市福島区
洲上3の3土真ビル内
(458) 0235
京都支社 京都市左京区下
鴨宮崎町 128の29
振替 東京 64937
編集発行人 正 木 真 一

日帝のベトナム加担反対

「死の商人」の摘発を

工場の大 軍事物資を送らせるな 衆包囲で

九蔵の特需になるというわかれ
るが、その内訳は、

- ①直接の特需、六・七億
- ②米の資本が軍需増に追いつけ
ないために日本から買いつけるも
の(カーテリ、鉄鋼、アルミ
合金、工作機械、工具等)が八
億
- ③台湾や韓国が特需を受け、そ
の原料、機械を日本からいつけ
ているものが二・三億と見込ま
れる十八・十九億というわけだ
と、米軍から、正式に直接特
需を受けていることを公然と名
づける「死の商人」は次の通り
○ジャングルシューズ、興国化学
○サンゴ
○サンドバック、日本マタ、倉
○ニシホ、洋
○航空機オーバーホール、川崎航
○三、三菱重工、日本飛行機、新

- 昭和
- クレール 久保田鉄工
- セメント 麻生産業、住友セ
メント、三菱セメント
- タイロッド 三菱製鋼、日本砂
鉄
- 冷凍プレハブ ダイキン、大機
組
- ドラック 日産ディーゼル、ト
ヨタ、三菱重
- LST修理 三菱重工、石川島
日立造船、浦賀重工
- ライオンセルシオン ヤンマー
ダイハツ、久保田
- 木材 丸紅、伊藤忠
- 電機部品 三洋、松下ソニー
○時計 服部シヤブ
- カメラ ミノルタ、ヘトリ、ヤ
シカ、キヤノン

明和
えは、ナバーム弾の原料である赤
リン、ベンゼン、TNT爆
弾の原料トルエンが特需受け
ている催涙ガス吸気ガスや毒ガ
スの特需がこもり行われている
といわれている。

ところで、ベトナム戦争の拡大
が、日帝の着て介入を本格的に
させているにもかかわらず、ベト
ナム戦争は、停滞している。
この原因は、一つにはたしかに
既成左翼の裏切りにある。
社会党は、口先だけで闘いをな
ら組織しようとしていない。
総評は、十月闘争を提起して
いるが、これと、闘う気力など
あったものではない。

共産党は、ベトナム、小選挙区
制を叫んでいるが、内実は、十
月党大会にむけて中共共闘に出
るが、この正式特需の例に

第二次共産主義者同盟建設のために

安保闘争のヘゲ モニー

安保闘争の絶頂期における、最
も重要な、根本的な問題はこの
闘争のヘゲモニーについての
評価にあることを前回のべた。
それ、安保闘争を勝利とするも
の、五・一九以降の政治過程
を民主主義、議会主義擁護の闘
いとして評価し、またこの観点
から、岸内閣の退陣をもって勝
利とした。そしてこの闘争によ
って、成立した安保を骨髄まで
批判した。逆に安保改定を、
日本帝国主義の極東における再
生と理解し、この支那階級の政
治プログラムに勝つた部分から
みれば、この闘いは明らかに敗
北であった。民主主義擁護派市
民主義者といふ勝利の結果は、
その内容を見れば、安保の通過
とブルジョア階級の本金増進内
閣の成立であった。

(続)

増大によって特需をのりつけ、一
帯を受けた。そして、侵略戦争勃
発は、正式特需が三億五千四百
六、七億で、計十億前後の特
需に達し、今年には、概算十八・
十九億と見込まれている。

以下、その闘いを具体的に推進
するため、日本の「死の商人」
どもをここに摘発しよう。

先述の通り、四十二年度の特需
は、十八・十九億といわれている
が、その内訳は、

○直接の特需、六・七億
○米の資本が軍需増に追いつけ
ないために日本から買いつけるも
の(カーテリ、鉄鋼、アルミ
合金、工作機械、工具等)が八
億
○台湾や韓国が特需を受け、そ
の原料、機械を日本からいつけ
ているものが二・三億と見込ま
れる十八・十九億というわけだ
と、米軍から、正式に直接特
需を受けていることを公然と名
づける「死の商人」は次の通り
○ジャングルシューズ、興国化学
○サンゴ
○サンドバック、日本マタ、倉
○ニシホ、洋
○航空機オーバーホール、川崎航
○三、三菱重工、日本飛行機、新

安保ブレンドの二重の敗北から学べ 再建さるべき同盟の課題

定着化を基盤として六・四ノ
トを労働者をも市民の二員
として闘ったと積極的に評価
した。そしてこのグループに
は、日共でも参加した。そ
には、新安保にあらわされた。
片務協定から双務協定への変
化という日米関係の変遷の基盤
が形を定めていた。日本の支配
階級の長期安定政権確立への目
信、それを裏つづける独占支配の
強化、およびそれを世界的に規
制した一九五八年以降の自由化
やECC発足は、日本のプロレ
タリアート人民への新たな攻撃
を含んでいた。そしてこの攻撃
に対する闘いの展開は、プロレ
タリアート以外にもえなれない
のであった。

ロレタリアートと急進派の左翼
戦術及び長期安定政権をめぐ
る支配階級の派閥抗争であつた
にもかかわらず、五・一九以
降の政治過程は民主主義者市民
主義者へのヘゲモニーの移行と
してあらわれた。この結果は確
かにとくに日共の「前衛的」
な結果安保闘争を自らの目
した綱領(草案)との関連で総
括する視点を喪失した。それ
は安保闘争の展開を主権的願
望にかけることによって必然化
されたのである。

全権は、日共の公認国家理論に
の自信を支えられていた。
しかし階級闘争の歴史は、こ
のような性格の資本の攻撃に対
してプロレタリアート人民の闘
いがしばしば革命的なものである
反響の場をもちあつたことを教
えている。とくに国際階級主義
の資本主義の危機と結合する
ものゆえに、七〇年安保に対し
より大きな危機感を抱かざるを
得ず、七〇年安保をめぐって一
大反動、一大変革を計画してい
る。

安保闘争に勝利した民主主義
者達が、資本主義支配体制の動
揺にもかかわらず、佐藤政府が
安保よりも一層の支配的な
力量をつよめていることに対し
て無力なのは、安保闘争の敗北
への本質に盲目なためであ
る。にもかかわらず、この資本
主義の危機状況、合理的な
賃金ストップにあらわされる資
本の攻撃としてつづけて、イン
フレで一層の攻撃をうけている
日本のプロレタリアート人民
は、安保闘争における自らの階
級的ヘゲモニーの喪失の意味を
今こそ学ばなければならぬ。
そして、それはまずもって、安
保闘争における二重の敗北とい
う打撃から学ばなければならない。
闘いの中に明確化されるであ
らう。

プロレタリアの確立がカギ
ヘゲモニーの確立がカギ
再建さるべき同盟の課題

米帝国主義のベトナム侵略・暴
虐無道は、日増に激化している。
軍隊投入は、昨年五万四千
(六月)から、今や三〇万にまで
達している。ロンドンタイムス
のつたところ(五月三十一日)
によれば、軍隊は、年末には四十万
来春には五十万に増強されるとい
う。それに、韓国、オーストラ
リア、ニュージーランド、フィリ
ピン、タイが、米の手先よろしく
ベトナム侵略に加わっており、ま
たタイのシヤム湾サタヒには、
B52爆撃機用の空母と石油大貯蔵
所がつくれ、さらに東北タイで
は、巨大なコンコン空港が作られ
てくる。

このように、米帝国主義は、徹
底した軍事強圧の方針をもちだし
ており、その規模は、朝鮮戦争を
こえようとしている。しかも、朝
鮮戦争と同じく、重大なことは
戦争と経済の結びつきが深まって
いるということである。米資本主
義の不況はベトナム軍需、好況
への活路を見出し、この米の好況
とベトナム軍需は資本主義各国、
とりわけ、日本資本主義を、不況
から引きあげつつある。今やベト
ナム侵略は、資本主義世界の再生
原動力にみられることによ
って、戦争継続を不可欠化される
に至っている。わかれれば、ここ
にベトナム侵略戦争の新たな段階
をひびかせなければならない。

米のベトナム戦費は、六十五年
度の一億から、六十六年には四
十八億となり、そして、六十七
年度には、百九十三億になると
推定されている。
日本資本主義は、この米の戦費

このような安保闘争の評価を
めぐる分岐こそは、実はこの闘
争をいかなる階級のヘゲモニー
で展開したか、またその闘いを
どのように組織してきたかの
ということが基となるのであ
る。一方の勝利闘争は、国民大衆
における戦後民主主義意識の

増大によって特需をのりつけ、一
帯を受けた。そして、侵略戦争勃
発は、正式特需が三億五千四百
六、七億で、計十億前後の特
需に達し、今年には、概算十八・
十九億と見込まれている。

以下、その闘いを具体的に推進
するため、日本の「死の商人」
どもをここに摘発しよう。

先述の通り、四十二年度の特需
は、十八・十九億といわれている
が、その内訳は、

○直接の特需、六・七億
○米の資本が軍需増に追いつけ
ないために日本から買いつけるも
の(カーテリ、鉄鋼、アルミ
合金、工作機械、工具等)が八
億
○台湾や韓国が特需を受け、そ
の原料、機械を日本からいつけ
ているものが二・三億と見込ま
れる十八・十九億というわけだ
と、米軍から、正式に直接特
需を受けていることを公然と名
づける「死の商人」は次の通り
○ジャングルシューズ、興国化学
○サンゴ
○サンドバック、日本マタ、倉
○ニシホ、洋
○航空機オーバーホール、川崎航
○三、三菱重工、日本飛行機、新

(飛鳥浩次郎)

